

## ブロッコリーの作期前進化を目指す試験を開始しました

令和3年4月13日(水)より長和町において被覆資材を活用した春作ブロッコリーの作期前進化を目的とした試験を開始しました。

昨年までの試験では、気温が低い3月下旬～4月上旬であっても被覆資材を活用することにより早期に収穫が可能となり、単価が比較的高い時期に出荷を目指せることがわかりました。しかし、昨今の燃油高騰等により、被覆資材の値段も高くなってしまっている事が課題です。そこで、比較的安価な被覆資材でも作期前進に十分な効果があるか検討することを目的に試験を実施しています。

被覆資材で覆うことで資材内の温度が外気より2.0℃程度高くなることから、覆った部分が高温になりすぎないように5月6日に被覆資材を除去しました。その後は除草を兼ねた中耕を行い、以後通常と同様の栽培管理を行っていただいています。

また、5月13日(金)には試験を実施したほ場にて現地検討会を実施し、関係機関や農業者の方々とともに、前進した生育の様子や被覆資材の活用による効果について確認いただきました。途中経過ではありますが、安価な資材でも生育前進について「思った以上に進んでいた」等の前向きなご意見や質疑等が出されました。

今後、収穫に合わせた調査を実施し、結果を取りまとめる予定です。



写真：作業の様子